

施策評価調書(28年度実績)

施策コード Ⅱ-2-(2)

政策体系	施策名	未来に向けた戦略的・効果的な企業立地の推進	所管部局名	商工労働部		
	政策名	多様な仕事を創出する産業の振興と人材の確保	関係部局名	商工労働部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②
取組項目	県経済の基盤強化に向けた 新たな企業誘致の推進	産業集積効果を企業誘致に生かすための 県内企業強化

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		28年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i 企業誘致件数(件)	①	H26	20	25	36	144.0%	25	25						

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i 達成	これまでの集積効果等を背景に、県北部を中心に自動車関連企業の誘致が増加するとともに、東九州自動車道開通効果を見込む食料品関連企業や、女性にとって柔軟な働き方も可能となるBPOやコールセンター等、幅広い分野において誘致が進んだことから目標値を上回ることができた。		達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・本県の強みである産業集積の厚みや市町村との連携による迅速なワンストップサービスを生かした誘致に積極的に取り組んだことにより、36件の企業立地があり、847人の新規雇用と、311億円の設備投資に結びついた。特に雇用者数は、リーマンショック後のH21年度以降で最多となっている。
②	・新たに進出した企業のうち2社が大分県自動車関連企業会に、1社が大分県LSIクラスター形成推進会議に加盟し、地場企業との連携が図られた。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(28年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	29年度の方向性	
①②	企業立地促進事業	231,568	A	継続・見直し	110
①	流通拠点整備推進事業	149,804	A	継続・見直し	111

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第3回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H28.7)</p> <p>・自動車産業は裾野が広く、県内でも多くの雇用を創出している状況だが、自動車技術は大きく変化しつつある。今後、安全な自動無人走行車をつくるにはセンサー、AI、ICT等の技術が合わさる必要があり、インテリジェントテクノロジーパークのような、ベンチャー企業が集まる企業基地を県内につくれないか。</p>	
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・企業が生産拠点の集約化や市場の大きな海外への投資を進めており、さらには、技術革新が急速に進展するなど、産業構造がダイナミックに変化している状況をふまえた企業誘致に取り組む。 ・自動車関連企業をはじめとする製造業を中心とした誘致に加えて、今後は、県経済の基盤強化に向け、大分県版第4次産業革命“OITA4.0”に挑戦する牽引役となるドローンやITなど、新たな分野の企業誘致にも取り組む。 ・都市部のIT関連企業においては、高速通信網を活用して地方にサテライトオフィスを開設する傾向が高まっているため、離島等の条件不利地域のインフラ等条件整備を行い、サテライトオフィス誘致に取り組む。 ・若手技術者等の雇用の場となる企業の研究開発部門や、女性にとって柔軟な働き方も可能となるBPOやコールセンターの誘致を強化する。 ・企業誘致に欠くことのできない工業団地の整備や新たな工場適地の掘り起こしに努める。